対応機種 SATELLA0 SATELLA1 SATELLA1Z SATELLA2

再生ガイド

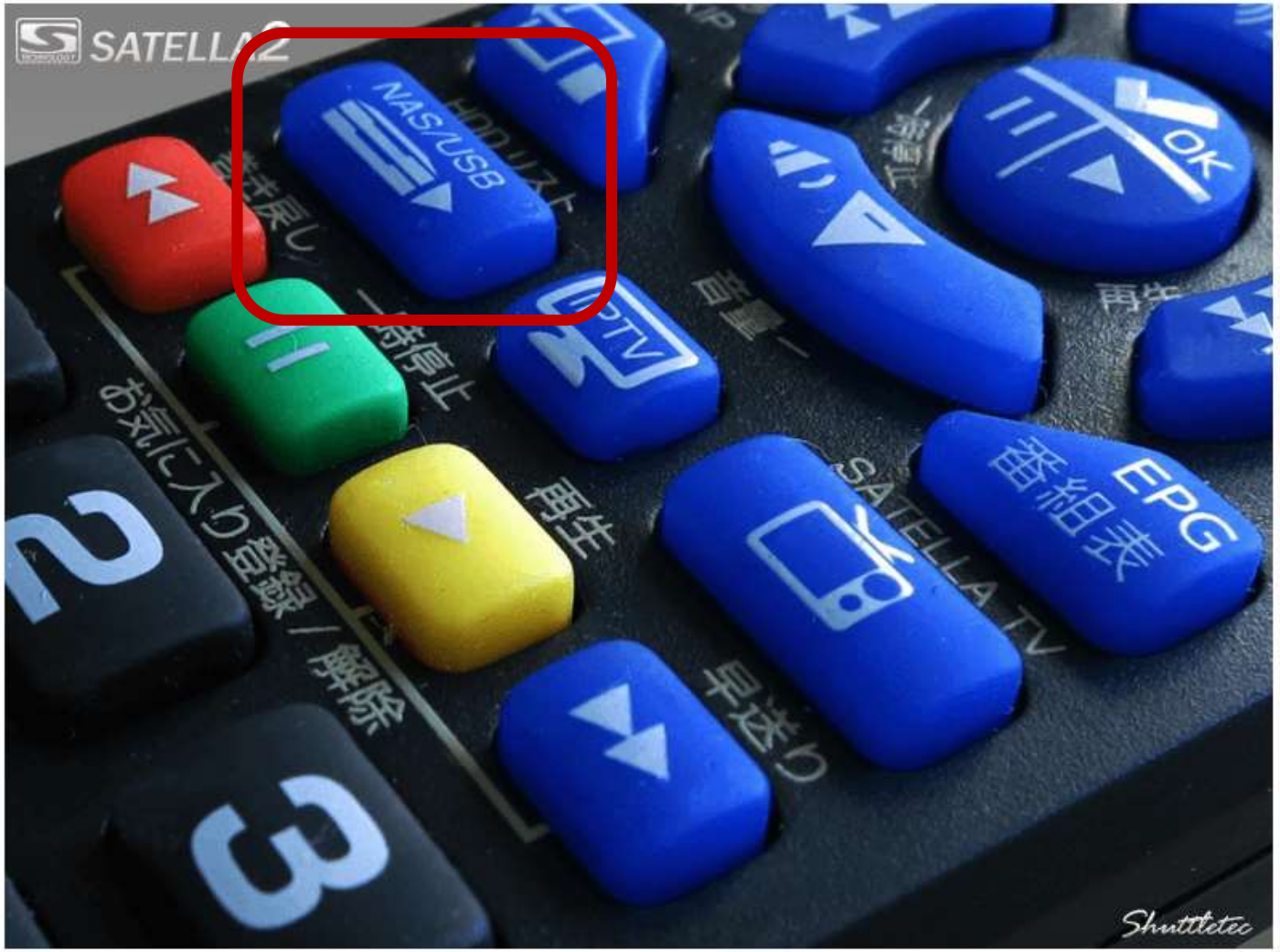
改造版

0 再生機能　比較表

機能	SATELLA0	SATELLA1	SATELLA1Z	SATELLA2
同時再生できるCH数	1 ch	1 ch	1 ch	**1ch**
HDD=テレビ再生	NASで可能	×	NASで可能	NASで可能
HDD=WIFI再生	×	×	×	NAS＋無線搭載で可能
HDD=PCで再生	NASで可能	×	NASで可能	NASで可能
HDD=追いかけ再生	NAS＋PCで可能	×	NAS＋PCで可能	NAS＋PCで可能
HDD=持ち出し	NASでそのまま可	変換作業後可	NASでそのまま可	NASでそのまま可
HDD=外出先から再生	NAS＋アプリで可	×	NAS＋アプリで可	NAS＋アプリで可
HDD=スマホで再生	NAS＋アプリで可	×	NAS＋アプリで可	NAS＋アプリで可
HDD=拡張子	Ts/Avi	ts	Ts/Avi	Ts/Avi
HDDリスト=並び替え機能	少ない	少ない	少ない	多い
早送り・巻き戻し、スキップ	可能	可能	可能	可能
途中から再生機能	可能	可能	可能	可能
再生するHDD切替	USB-NAS	×	USB-NAS	USB-NAS複数切替
再生画質	高画質	最高画質	最高画質	最高画質＋**美濃**
再生の自由度	☆☆☆	☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆☆

サテラ1はネットワーク録画（NAS録画）に対応していないため、再生時に弱い。
サテラ０、サテラ１、サテラ１Zの再生プレイヤーのデザインは同じ。サテラ２からは新しいデザインになっている。

1 HDDリストボタンを押す



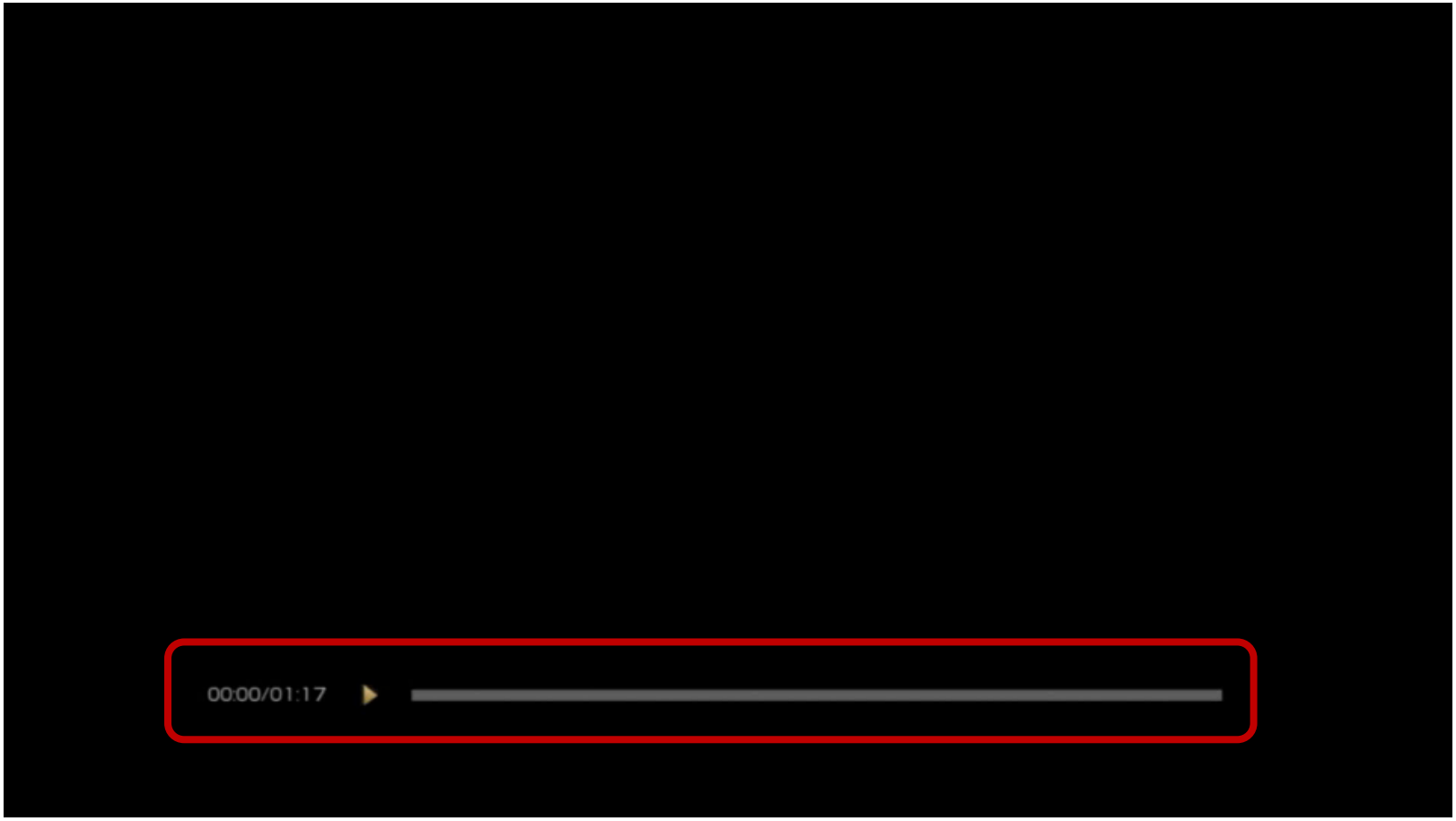
HDD：ハードディスクの略

2 動画ファイルを選ぶ

この場所でUSBとNASを切替すると、HDDの中身がリスト表示される。
再生したいファイルを選んでOKボタンを押す。

HDDリストのデザインはパッチ更新で進化していっている模様。

3 再生が始まる



リモコンの巻き戻し、一時停止、再生、早送り、スキップなど多彩な動作ができる。長押しで一気に飛ばすこともできるので試してみて。

サテラ０、サテラ１Zのプレイヤーよりもサテラ２はシンプルデザイン。

4 番組内容を表示できる

リモコンのVIEWボタンを押すと、番組内容が表示される。
これでどんな番組か一目で確認できる。

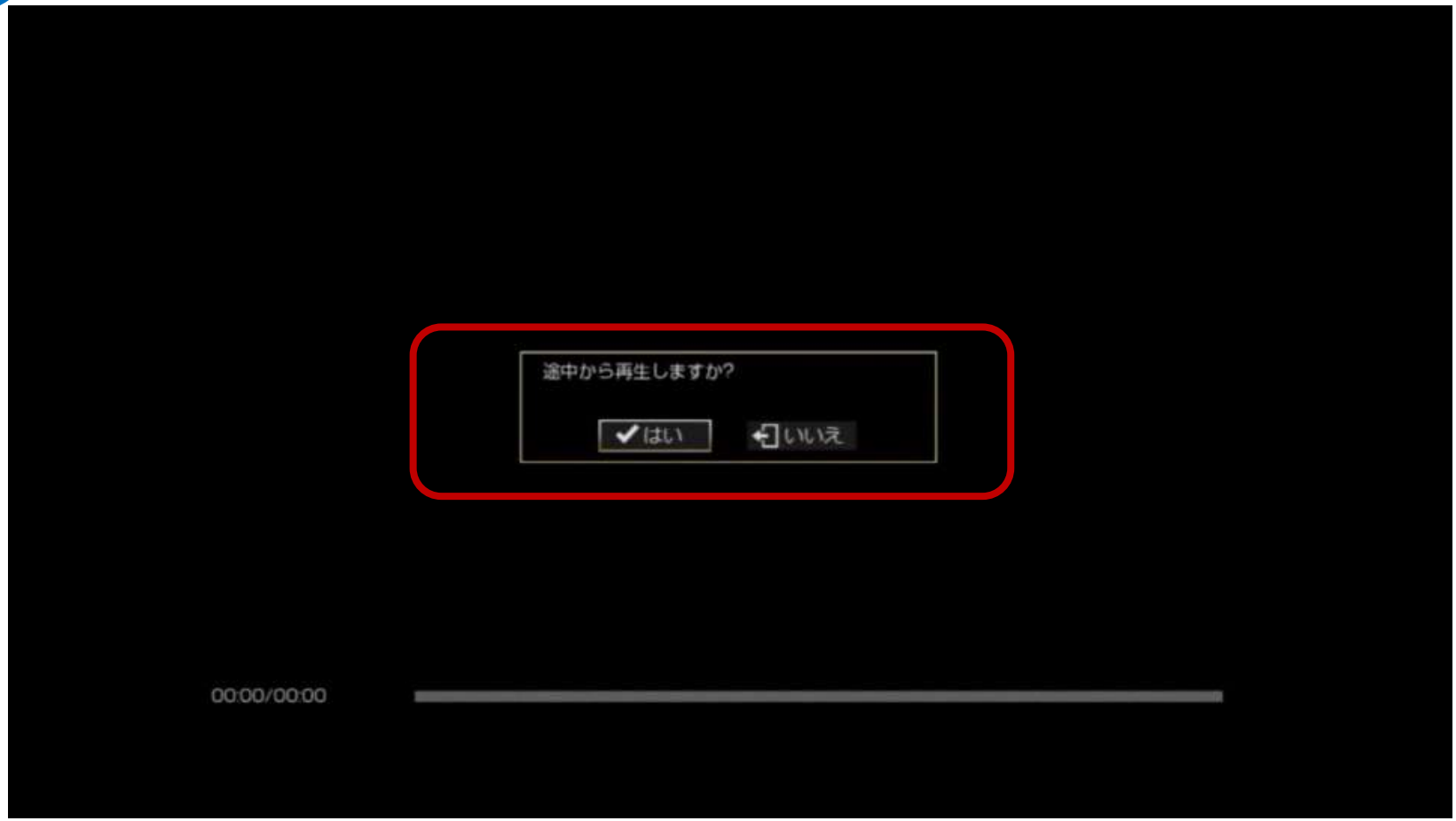
メニューボタン2回押すとメインメニューが表示される。

5 途中で停止する

途中まで見たファイルは再生アイコンが灰色になった。まだ視聴していないファイルは水色のまま。HDDリストは予約リストと同じように並び替えも豊富。

メニューボタン2回押すとメインメニューが表示される。

6 途中から再生できる



途中まで再生したファイルは、途中から再生ができる。

サテラ０、サテラ１Zにも同様の機能は搭載されている。

対応機種 SATELLA0 SATELLA1Z SATELLA2

再生持ち出しガイド

改造版

たっぷり撮って、持ち出し自由自在

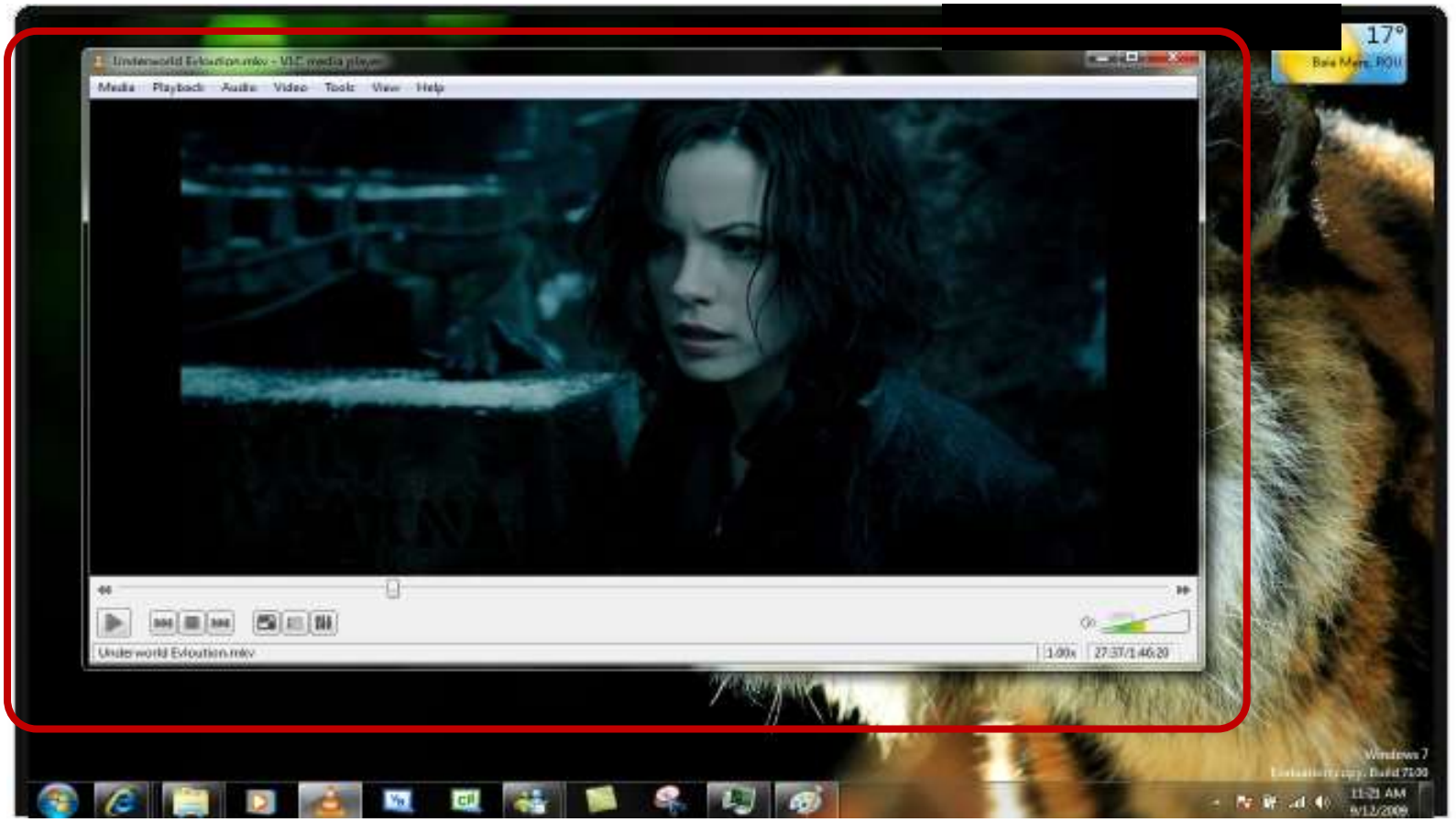
USB 録画データは PC で変換しやすい TS 拡張子。PC で再生できる拡張子。
NAS録画でPCで開けるから持ち出し簡単。PC で追いかけ再生もできる!

1 パソコンからNAS-HDDへアクセス

NAS-HDDと同じネットワーク内にあるパソコン。NAS-HDDに付属しているソフトウェアをインストールして、NAS-HDDにアクセスできるようにする。

画面はNASナビゲーター２　無料の付属ソフト

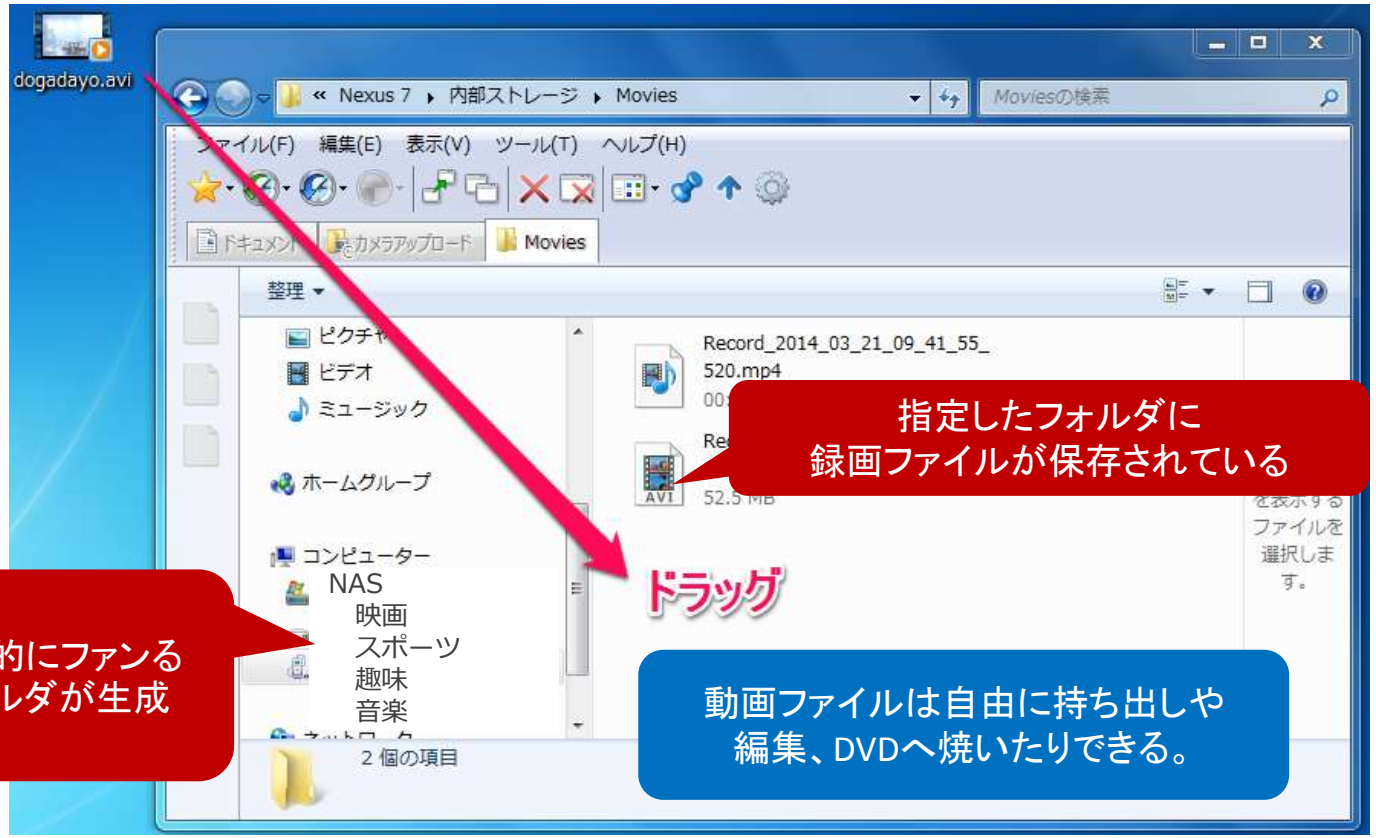
2 パソコンで再生する



そのまま動画ファイルをダブルクリックすると、再生ができる。
再生プレイヤーは、VLCプレイヤーがおすすめ。

VLCプレイヤー：無料の動画再生プレイヤー。

3 持ち出し簡単な動画ファイル



最高画質で録画されているファイルなので、動画圧縮ソフトなどを使って軽くして持ち出す方法もある。SDカードやHDDに保存していけば、車のカーナビ、スマートフォンなどでも再生が簡単にできるようになる。

録画ファイルは、コピーガードが付いていないため自由に加工もできる。

4 外出先からHDDにアクセス

NAS-HDDをインターネット経由でアクセスできる設定にすれば、会社や友人の自宅からなどでも再生ができる。

NAS-HDDに付属しているスマホ用アプリを使っても再生できる。

ネット速度により映像が乱れることがある。

5 写真ボタン　0　を押す

視聴中に、リモコンの数字０ボタンを押して見よう。
今放送中の画面がキャプチャできる写真機能を使ってDVDジャケットも作れる。

パソコンでHDDにアクセスすれば、画像も簡単に取り出せる。

6 DVDなどで焼くこともできる

NAS-HDDから取り出した動画は、パソコンでDVDなどに焼いて保存することもできる。
シリーズ録画で全巻DVDに焼いていつでも持ち出せるようにしておくこともできる。

再生したい機器が対応している拡張子が違う場合は、変換ソフトで書き換えよう。